

令和7年

市場概要

鹿児島市中央卸売市場

は　　じ　　め　　に

鹿児島市中央卸売市場は、昭和10年11月3日業務開始以来今日まで、生鮮食料品の円滑な流通と食生活の安定に寄与してまいりました。

この間、魚類市場が昭和42年4月に、また、青果市場が昭和51年11月にそれぞれ現在地に移転し、以来、順調な発展を続けてきましたが、施設の老朽化が著しい状況から、品質管理面や物流機能面など市場に求められる機能や役割を果たすため、両市場ともに施設の整備に取り組んでまいりました。青果市場においては、平成31年3月にリニューアル整備が完了したところであり、魚類市場においては、令和6年9月に再整備事業が完了しました。

これからも当中央卸売市場は、開設者及び市場関係業者が一体となって、本市はもとより南九州の生鮮食料品流通の中核的拠点市場としての役割を果たしてまいります。

この概要は、令和6年次の鹿児島市中央卸売市場の青果・魚類市場の取扱状況及びこれまでの実績を統計的に整理収録したもので、市場行政の基礎資料とするとともに、関係各機関の参考に供するものです。

なお、この概要を編纂するにあたり、ご協力いただいた方々に厚く感謝の意を表します。

令和7年3月

鹿児島市中央卸売市場

場　長　山　中　浩　平

凡 例

1. 期間

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

開場日数は青果市場 246日、魚類市場は 256日

休市日数は青果市場120日（臨時休市 54日含む。）

魚類市場 110日（臨時休市 41日含む。）

2. 取扱品目の部類

青果部 水産物部

3. 単位

原則として、数量は一部を除きトン表記、金額は 円、平均単価は円/kgとした。単位未満の数字は、四捨五入の方法により整理したもので、統計表によっては、合計の数字とその内訳の数字が一致しない場合がある。

4. 産地

原則として、青果部は生産地及び加工地の都道府県・国を表示した。

5. 参考資料

取扱関係資料： 市電算データによる
見 学 者 数： 各市場統計データによる

目 次

総 括

1 中央卸売市場の概要	1
(1) 開 設	
(2) 主たる供給区域	
(3) 市場別概要	
(4) 中央卸売市場位置図及び案内図	
2 中央卸売市場の沿革	3
3 市場の略年表	4
4 中央卸売市場の意義	5
5 中央卸売市場の機能	5
(1) 開設者（鹿児島市）	
(2) 市場運営協議会	
(3) 市場取引調整会議	
(4) 卸売業者	
(5) 仲卸業者	
(6) 売買参加者	
(7) 関連事業者	
(8) 買出人	
(9) 関係業者数	
6 市場機構	7
(1) 青果市場	
(2) 魚類市場	
(3) 開設者（組織及び業務内容）	
7 取扱高の概況（令和6年次）	12
(1) 青果市場	
(2) 魚類市場	
8 本市場の取扱高推移（令和2年次～令和6年次）	14

青果市場

1	青果市場の年次別・種類別取扱高表（令和2年次～令和6年次）	15
2	青果市場の開市日数及び種類別平均取扱高等（令和2年次～令和6年次）	16
3	卸売業者の月別・種類別取扱高表（令和6年次）	17
4	卸売業者の種類別取扱高比較表（令和4年次～令和6年次）	18
5	卸売業者の上位10品目取扱高比較表（令和6年次）	19
6	卸売業者の月別県内県外別取扱高表（令和6年次）	20
7	卸売業者の産地別取扱高順位表（令和6年次）	21
8	卸売業者の品目別取扱高（令和6年次）	23
9	卸売業者の品目別平均単価表（令和4年次～令和6年次）	25
10	主要品目の月毎の県内産取扱量割合（令和6年次）	35
11	市場見学一覧表（令和6年次）	36
12	青果物残留農薬検査（令和6年次）	37

魚類市場

1	魚類市場の年次別・種類別取扱高表（令和2年次～令和6年次）	38
2	魚類市場の開市日数及び種類別平均取扱高等（令和2年次～令和6年次）	39
3	卸売業者の月別・種類別取扱高表（令和6年次）	40
4	卸売業者の主要品目別の前年対比表（令和5年次対令和6年次）	41
5	卸売業者の種類別・取扱数量上位10品目の一覧（令和6年次）	42
6	卸売業者の種類別・取扱金額上位10品目の一覧（令和6年次）	43
7	卸売業者の品目別取扱高（令和6年次）	44
8	市場見学一覧表（令和6年次）	49

総括

1 中央卸売市場の概要

(1) 開 設

昭和10年 4月12日 開 設

昭和10年11月 3日 業務開始

(2) 主たる供給区域 鹿児島市

(3) 市場別概要

(令和7年1月1日現在)

区 分	青 果 市 場	魚 類 市 場
(1) 位 置	鹿児島市東開町11番地1	鹿児島市城南町37番地2
(2) 敷 地	97,393㎡	30,151㎡
(3) 取 扱 品 目	野菜、果実及びこれらの加工品、鳥卵並びに規則で定めるその他の食料品	水産物及びその加工品並びに規則で定めるその他の食料品
(4) 開 場 時 間	午前0時～午後12時	午前0時～午後12時
(5) 販 売 開 始 時 刻	午前5時	午前2時30分
(6) せり開 始 時 刻	午前7時	午前5時30分
(7) 休 業 日	日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに市長が別に定める日及び1月2日から同月4日まで	同 左
(8) 施 設 延 面 積		
卸 売 場	11,103㎡	4,639㎡
(うち低温卸売場)	(3,219㎡)	(502㎡)
仲 卸 売 場	6,760㎡	2,935㎡
事 務 室	4,332㎡	3,123㎡
エ レ ベ ー タ ー	37㎡	111㎡
屋根付荷捌場	7,860㎡	622㎡
買 荷 保 管 所	3,468㎡	—
関 連 事 業 店 舗	2,987㎡	1,180㎡
冷 蔵 庫	5,638㎡	140㎡
冷蔵碎氷施設	—	299㎡
自走式立体駐車場	4,444㎡	—
発泡スチロール処理施設	—	61㎡
そ の 他	7,826㎡	11,249㎡
計	54,455㎡	24,359㎡
(その他仮設施設)	—	—

(4) 中央卸売市場位置図及び案内図

鹿児島市中央卸売市場青果市場

所在地 鹿児島市東開町11番地1

TEL (099)267-1311

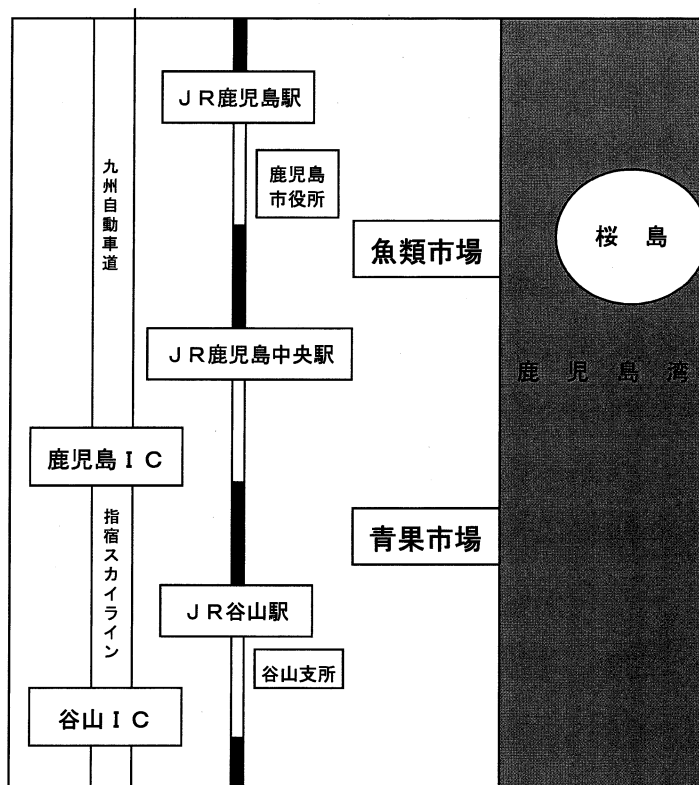
FAX (099)267-1314

鹿児島市中央卸売市場魚類市場

所在地 鹿児島市城南町37番地2

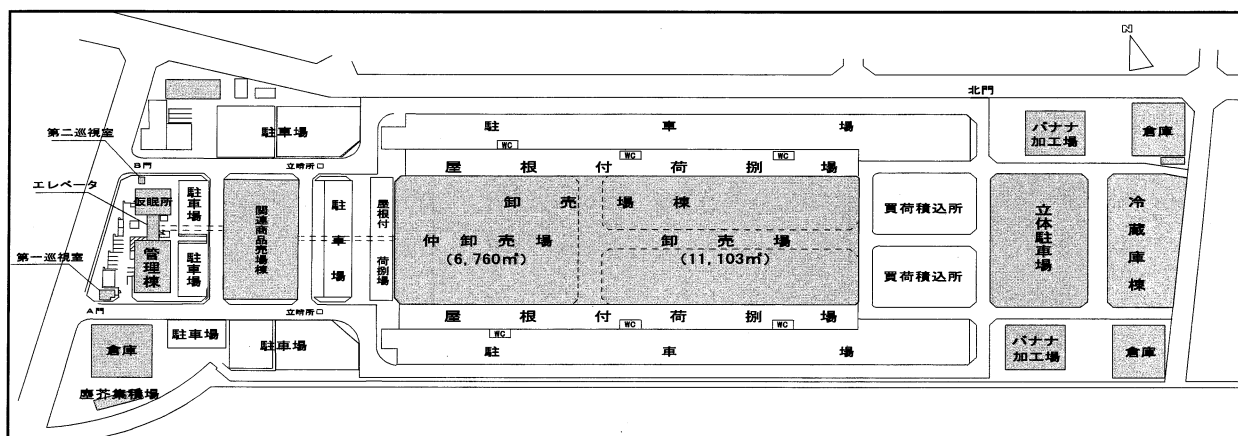
TEL (099)223-0310

FAX (099)223-9817

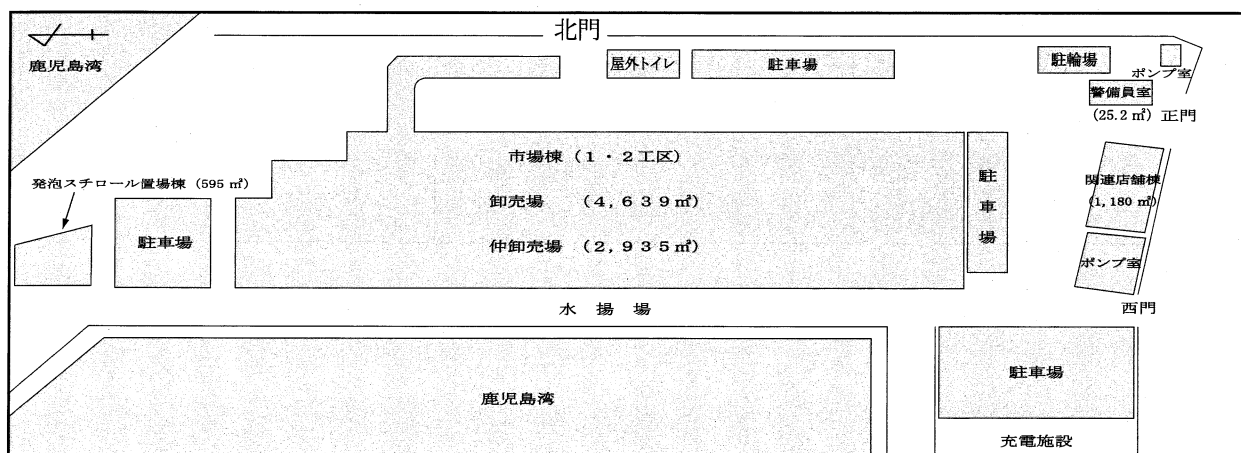


鹿児島市中央卸売市場位置図

青果市場施設案内図



魚類市場施設案内図



2 中央卸売市場の沿革

元和元年（1615年）島津家久によって納屋通（現在の中町）にご用魚問屋が設立され、全盛期には48軒の問屋が軒を連ねていた。その後明治37年に甕城魚類合資会社が設立され、17軒の問屋が開業していた。

大正13年には、鹿児島青物卸市場が、同14年には桜島青果卸市場がそれぞれ開設され、さらに昭和5年には県農会の青果卸売市場も開設したが、ちょうどその年に鹿児島市が、第2次中央卸売市場の建設地に指定された。市では、中央卸売市場の建設を計画し、昭和9年12月11日に開設することについて、市議会に上程議決された。翌10年4月12日に商工省の開設認可を受け、全国で7番目、九州では最初の中央卸売市場（青果・水産）として、昭和10年11月3日に業務を開始した。その後、昭和19年から20年にかけての空襲によって、施設も全部焼き尽くし、焼け跡にバラックを建て配給業務にあたった。昭和22年には建設の兆しも見え、卸売業者である荷受機関も複数制となった。

昭和40年には、経済の発展とともに人口の増加による取扱数量の増大、輸送車両の大型化、モータリゼーションの進展などによって市場敷地の狭隘性が問題となり、城南町の現在地に魚類市場を建設し、昭和42年4月3日魚類部を移転させ単独市場として業務を開始した。

昭和46年には卸売市場法の全面改正に伴い、南九州の流通拠点としての市場機能を十分発揮するため、青果市場を移転新設する整備計画を策定し、東開町の臨海工業地帯3号用地の一部に市場用地97,393㎡を取得、総事業費約48億4千万円をもって建設し、51年11月4日に東開町の現在地で業務を開始した。

平成16年11月1日、1市5町の合併による新たな鹿児島市が誕生し、地方自治・広域行政の推進に伴い、市場の果たすべき役割が再認識される中、生鮮食料品の安定供給と食の安全安心を確保しながら、中央卸売市場としての業務を推進してきた。

しかし、近年、卸売市場を取り巻く環境は、生鮮食料品の流通の広域化や情報化の進展、消費者の食の安全安心に対する関心の高まりなど大きく変化してきており、卸売市場には、さらに生産・消費の期待に応えられる安全・安心で効率的な流通システムへの転換が求められている。

このような状況を踏まえ、中長期的な観点から施設の整備をはじめ、将来的にあるべき方向性を明確にし、その方向性に基づいたハード・ソフトの両面について検討を行い、健全な市場運営を目指すことを目的として「鹿児島市中央卸売市場整備計画」を平成21年3月に策定した。

さらに、青果・魚類両市場の目指す姿と達成目標を明らかにし、それらを実現するために必要な取組と、それぞれの市場における整備を推進するため、平成24年3月に「鹿児島市中央卸売市場魚類市場再整備基本計画」を、平成24年7月に「鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル基本計画」を策定した。

平成25年度には、青果市場では、リニューアル整備に向けて、整備方針を取りまとめ、さらに屋根付荷捌場の実施設計を行い、魚類市場においては、現在地での建替え整備に向けて、平成26年1月に再整備基本設計をまとめた。

青果市場では、平成26年度から平成30年度までに、屋根付荷捌場・自走式立体駐車場の新築工事、エレベーター・見学デッキの新設工事を行うとともに、管理棟・関連商品売場棟・卸売場棟・冷蔵庫棟などの改修工事や場内舗装工事等を実施した。

魚類市場では、平成26年度に市場棟などの実施設計を行い、平成28年度に市場棟（1工区）及び関連店舗棟の建設工事に着手した。平成29年度は関連店舗棟が完成し、平成30年度に市場棟（1工区）が完成した。また、令和元年度から令和3年度にかけて市場棟（2工区）建設工事を実施し、令和3年8月に完成。10月より市場棟全面供用開始となった。その後周辺施設解体工事及び外構工事に着手し、令和6年度に再整備事業が完了した。

令和2年に卸売市場法の一部改正に伴い、卸売業者の許可等に係る規定を新設するとともに、売買取引に係る規定を整備する業務条例の改正を行い、6月21日に施行された。

令和3年3月には、今後の市場のあり方や方向性、運営方針を明確化した「鹿児島市中央卸売市場経営展望」を策定した。

3 市場の略年表

元和元年				薩摩藩主島津家久納屋市場にご用魚問屋を許可
安政4年				世界初パリ中央卸売市場開設
明治22年				露天野菜市場、広馬場に誕生
大正12.	3.	30		中央卸売市場法公布
	13.	8.	1	鹿児島青物卸市場、名山堀に誕生
	14.	7.	21	桜島青果卸市場、桜島栈橋に誕生
昭和	2.	12.	11	わが国最初の京都市中央卸売市場開設
	9.	2.	28	旧青果市場敷地を県から無償借用
	10.	4.	12	鹿児島市中央卸売市場開設認可
	10.	11.	3	鹿児島市中央卸売市場開設
	20.	6.	17	空襲により焼失
	20.	11.	3	開設10周年記念式典举行
	29.	3.	2	戦災復旧工事完成
	30.	11.	3	開設20周年記念式典举行
	37.	4.	28	青果部果実卸売上屋等焼失
	37.	11.	14	青果部果実卸売上屋等復旧工事完成
	40.	11.	3	開設30周年記念式典举行
	42.	4.	1	魚類市場新設開場式举行
	42.	4.	3	魚類市場移転、業務開始
	46.	4.	3	卸売市場法公布（中央卸売市場法廃止）（新法）
	46.	7.	1	卸売市場法施行
	46.	11.	30	農林大臣、卸売市場整備基本方針を公表
	47.	2.	10	農林大臣、中央卸売市場整備計画を公表
	47.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（全部改正）
	49.	3.	31	現青果市場用地取得（東開町3号用地の一部）
	50.	1.	27	現青果市場起工式举行
	51.	9.	30	現青果市場建設工事完成
	51.	10.	10	新青果市場開場式及び開設40周年記念式典举行
	51.	11.	4	青果市場移転、業務開始
	60.	11.	23	開設50周年記念式典举行
	61.	10.	22	魚類市場拡張用地を取得
	63.	3.	25	魚類市場卸売市場増築
平成	2.	7.	31	魚類市場仲卸売場増築
	4.	3.	1	青果市場低温卸売場施設完成
	5.	12.	20	魚類市場自走式立体駐車場完成
	6.	3.	22	魚類市場発泡スチロール処理施設完成
	7.	11.	12	開設60周年記念式典举行
	17.	11.	20	開設70周年記念式典举行
	18.	3.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
	19.	4.	1	魚類市場低温卸売場施設完成
	21.	3.	30	鹿児島市中央卸売市場整備計画策定
	21.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）

平成 24.	3.	28	鹿児島市中央卸売市場魚類市場再整備基本計画策定
24.	5.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
24.	7.	30	鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル基本計画策定
25.	9.	2	鹿児島市中央卸売市場青果市場リニューアル整備計画策定
26.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
27.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
27. 11.		8	開設80周年記念青果・お魚市場まつり開催（青果市場）
27. 11.		15	開設80周年記念式典挙行
28.	3.	4	青果市場自走式立体駐車場完成
28.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
29.	6.	1	魚類市場関連店舗棟完成
30.	2.	14	青果市場屋根付荷捌場完成
30.	7.	1	魚類市場新市場棟（1工区）完成
31.	4.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
令和 2.	6.	21	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
	2.	8. 26	鹿児島市中央卸売市場業務継続計画（BCP）策定
	3.	3. 16	鹿児島市中央卸売市場経営展望策定
	3.	9. 1	魚類市場新市場棟（2工区）完成
	3. 10.	1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
	5.	3. 1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）
	5.	4. 1	鹿児島市中央卸売市場業務条例施行（一部改正）

4 中央卸売市場の意義

中央卸売市場は、私達の毎日の食生活上欠くことのできない生鮮食料品等（水産物・野菜・果実・これらの加工品及び鳥卵）を卸売する市場で、卸売市場法に基づき、農林水産大臣の認定を受けて開設するものです。

中央卸売市場が有する集荷及び分荷、価格形成、代金決済等の調整機能は重要であり、卸売業者の集荷機能、仲卸業者の目利き機能等が果たされることにより、食品等の流通の核として安定的に生鮮食料品等を供給する役割を果たすことが期待されます。

流通が多様化する中で、卸売市場は、生鮮食料品等の公正な取引の場として、特定の取引参加者を優遇する差別的取扱いの禁止のほか、取引条件や取引結果の公表等、公正かつ透明を旨とする共通の取引ルールを遵守し、公正かつ安定的に業務運営を行うことにより、地方公共団体を始めとする開設者は、地域住民からの生鮮食料品等の安定供給に対するニーズに応えつつ、高い公共性を果たす必要があります。

5 中央卸売市場の機能

中央卸売市場の機能の中で重要な事項は次のとおりです。

- 大量かつ効率的な集分荷
- 多種多様な品目の豊富な品揃え
- 適正な価格形成
- 確実迅速な決済
- 需給に係る情報の収集及び伝達

これが、消費者には適種適量な商品の安定供給源となり、生産者には信頼できる継続的な販売ルートの確保となります。

(1) 開設者（鹿児島市）

卸売市場法、業務条例、施行規則等に基づいて、市場を開設し、施設の維持管理及び業務の認可等を行うとともに、取引が公正に行われるよう指導監督を行います。

(2) 市場運営協議会

鹿児島市中央卸売市場における業務の運営に関し必要な事項を調査審議して、市長に意見を述べるすることができます。（市長が委嘱する委員20人以内で組織）

(3) 市場取引調整会議

秩序ある市場運営を維持し、相互の発展に寄与することを目的としており、売買取引に関するルール等の設定及び運営について市場関係者で協議、調整を行います。（青果市場、魚類市場それぞれ設置。青果市場取引調整会議は、市長が委嘱する委員5人で組織。魚類市場取引調整会議は、市長が委嘱する委員6人で組織）

(4) 卸売業者

卸売業者は、開設者の許可を受けて、出荷者から販売委託又は買付により集荷した品物を、仲卸業者や売買参加者等に卸売します。販売方法は、せり売又は相対取引等の方法で行われます。

(5) 仲卸業者

仲卸業者は、開設者の許可を受けて、卸売業者等から買受けた品物を分荷調製して、市場内の仲卸店舗で売買参加者や買出人に販売又は他の市場等へ転送販売する業者で、専門的技能経験をもって品物を評価し、市場における価格形成に重要な役割を果たしています。

(6) 売買参加者

生鮮食料品の小売業者、加工業者及び大口需要者のうち、開設者の承認を受けて仲卸業者と同様に卸売業者から直接卸売を受けることができる者で、市場外の店舗で主として一般消費者へ小売する業者をいいます。

(7) 関連事業者

開設者の許可を受けて市場機能を補完するため又は市場を利用する人達の便益を図るため、市場内の店舗その他の施設において営業をしている者で関連食品、雑貨販売、冷蔵庫業、飲食業などを営む業者をいいます。

(8) 買出人

開設者の登録を受けて仲卸業者から生鮮食料品を買受け、市場外の店舗で主として一般消費者へ小売する売買参加者でない小売業者及び飲食店業者等をいいます。

(9) 関係業者数

区 分	令和7年1月1日現在	
	青果市場	魚類市場
卸 売 業 者	2	2
仲 卸 業 者	22	29
売 買 参 加 者	118	80
関 連 事 業 者	22	10

6 市場機構

(1) 青果市場（場内業者・団体名）

ア 卸売業者（2業者）

名 称	代 表 者	TEL
鹿児島中央青果(株)	池 田 学	2 6 7 - 3 3 1 1
鹿児島青果(株)	大 山 康 成	2 6 7 - 3 1 1 1

イ 仲卸業者（22業者 法人21・個人1）

鹿児島市中央卸売市場青果卸売商業協同組合（22業者） 代表理事 野村 清隆 TEL 2 6 8 - 0 5 3 3					
名 称	代 表 者	TEL	名 称	代 表 者	TEL
(有)大山商店	大 山 晃 伸	2 6 7 - 1 2 3 1	(有)楠義春商店	楠 耕 作	2 6 7 - 1 5 5 2
(株)ヤマノ青果	野 村 清 隆	2 6 8 - 3 1 3 1	(株)三好青果	川 畑 良 治	2 6 8 - 0 5 5 1
(株)脇青果	東 博・脇 勝江	2 6 8 - 0 5 2 1	(有)山元商店	山 元 孝 一	2 6 8 - 0 5 3 2
藤井商店	藤 井 ヒサ子	2 6 8 - 0 4 5 2	(有)松元青果商店	松 元 哲 平	2 6 8 - 0 5 2 3
(有)竹之内青果	竹 之 内 勝	2 6 8 - 6 1 1 3	(有)吉井商店	吉 井 一 登	2 6 7 - 3 5 6 5
(有)カネムラ商店	村 脇 広 哲	2 6 8 - 0 5 0 2	(有)岡元商店	岡 元 昭 博	2 6 7 - 3 8 1 0
(有)高山文雄青果	高 山 幸 雄	2 6 8 - 0 4 0 0	(有)松フヂ商店	堀 田 登	2 6 9 - 2 5 5 4
(有)日の丸青果	鶴 田 尚	2 6 8 - 0 5 2 4	(有)折田秀雄商店	折 田 正 一	2 6 7 - 0 2 8 2
(有)浜田静雄商店	濱 田 裕 三	2 6 7 - 4 8 3 3	(有)山内綱夫商店	川 畑 俊 文	2 6 9 - 4 3 6 9
(有)マルヤマ青果	君 野 正 行	2 6 8 - 0 5 3 0	(有)村脇榮湓商店	宮 原 真 二	2 6 7 - 2 3 5 6
(株)横村青果	横 村 辰 己	2 6 8 - 3 1 8 8	(有)ヤマイチ青果	大 山 耕 治	2 6 9 - 4 3 0 0

ウ 売買参加者組合（2組合 売買参加者数 118 人）

名 称	代 表 者	売買参加者数	TEL
鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合	福 井 利 信	7 5 人	2 6 7 - 3 8 2 2
鹿児島市青果商業協同組合	白 川 満	4 3 人	2 6 8 - 0 5 0 3

エ 関連事業者（２２業者）

（ア）第１種関連事業者（１３業者）

業 種		名 称	代 表 者	TEL
冷 蔵 業		鹿児島冷蔵（株）	玉 島 尚 行	2 6 7 - 4 1 1 1
容器包装資材取扱業		(有)九州資材商事	田 中 浩 史	2 6 7 - 1 2 1 6
		(有)いそや包装	内 林 一 幸	2 6 3 - 4 4 4 1
食 料 品 卸 売 業	総合食料品	鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合	福 井 利 信	2 6 7 - 3 8 2 2
	佃煮・そう菜・弁当	(有)ワイケイシステム	山 下 孝 治	2 3 0 - 0 2 6 6
		(有)かねやま	杉 山 義 文	2 6 8 - 6 2 8 0
	とうふ・もやし・練製品	(有)浜崎正幸商店	濱 崎 雅 彦	2 6 8 - 6 2 9 0
	塩干物	(有)内之倉商店	内之倉 敏 治	0 9 0 - 3 9 1 0 - 1 5 7 8
		(有)大八食品	緒 方 祐 大	2 6 1 - 7 9 3 3
	食肉	(有)共同食肉	稲葉 栄一郎	2 6 0 - 2 3 1 0
市場機能の充実に資する業種	野菜・果実パックセンター	(有)かねやま（再掲）	杉 山 義 文	2 6 8 - 6 2 8 0
		(有)緒方商店	緒 方 英 二	2 6 0 - 4 8 9 3
		八百せん	松 原 宗 平	2 8 4 - 9 3 0 0
		(有)松永青果店	重森 喜代富	2 6 8 - 0 5 0 1

（イ）第２種関連事業者（９業者）

業 種		名 称	代 表 者	TEL
飲食店営業	中食堂	ずぼらや四季	敷 根 伸 一	2 6 6 - 1 6 8 0
		ジャージャンクタイ ハクシェ 家常菜 博朱	鍵 屋 博 史	2 9 8 - 5 6 2 6
		そばcafé輪	家 村 直 秀	—
	小食堂	喫茶王様	溝 口 光 代	—
金融業	銀行（ATM）	(株)鹿児島銀行卸本町支店青果市場出張所	米 盛 総 太	2 6 0 - 2 5 7 0
	簡易郵便局	東開町簡易郵便局	内立元 聡子	2 6 9 - 3 8 8 5
市場利用者に便益を提供する業種	種苗取扱業	(株)園芸種苗相談所	藤 本 友 之	2 6 7 - 3 7 4 5
	運搬機修理業	(株)シンコーフォークリフト鹿児島	早 淵 芳 明	2 6 0 - 0 0 4 5
	飲料販売	nikka	鶴 田 尚	2 6 8 - 0 5 2 4

オ その他場内業者・団体名

名 称	代 表 者	TEL
鹿児島市中央卸売市場青果協会	池 田 学	2 6 7 - 3 3 1 1
鹿児島県経済農業協同組合連合会	卓 間 寛	2 5 8 - 5 3 1 1 (通いコンテナセンター 2 1 0 - 2 1 1 2)

(2) 魚類市場 (場内業者・団体名)

ア 卸売業者 (2 業者)

名 称	代 表 者	TEL
鹿児島県漁業協同組合連合会	市田 恵八朗	2 2 3 - 1 1 7 1
九州中央魚市株式会社	三 原 章 義	2 2 3 - 3 2 1 1

イ 仲卸業者 (29 業者 法人28・個人1)

鹿児島市水産物卸売協同組合 理事長 山口 憲一郎 TEL 2 2 3 - 1 8 1 8					
名 称	代 表 者	TEL	名 称	代 表 者	TEL
(株)市木水産	市 木 大 作	2 2 4 - 1 5 2 5	マルマ水産(有)	田 辺 俊 哉	2 2 2 - 6 0 7 0
カネセ水産(株)	山 下 淳 治	2 1 0 - 7 6 3 8	(有)マルヤ水産	松 屋 正 博	2 2 3 - 8 9 9 3
(有)かねきち水産	林 聖 治	2 2 2 - 6 7 8 0	松屋水産(有)	松 屋 俊 博	2 9 4 - 9 7 5 0
(有)川越水産	名 越 文 昭	2 2 3 - 4 3 8 0	丸正水産(株)	今 村 芳 英	8 0 0 - 8 6 6 2
窪田水産(有)	窪 田 義 博	2 5 8 - 0 9 9 4	(有)丸十水産	前 田 健 司	2 2 3 - 4 2 6 1
倉田水産(有)	倉 田 一 男	2 5 6 - 1 3 1 1	(有)丸徳水産	種子田 修	2 2 4 - 2 7 3 0
(有)桜井水産	田 邊 博 之	2 2 3 - 3 0 6 5	(有)丸安水産	寺 田 盛 茂	2 4 7 - 6 0 7 0
(株)田井村水産	田井村 佳正	2 2 4 - 2 6 5 9	宮崎水産(有)	宮 崎 浩 充	2 2 4 - 7 3 7 3
(株)田中水産	田 中 積	2 2 7 - 2 7 8 9	(有)村山水産	萩 原 清 隆	2 2 2 - 8 8 7 7
田畑水産(株)	田畑 泰治郎	2 2 2 - 2 0 3 5	(有)森水産	森 広 子	2 5 8 - 1 4 0 8
(株)津曲商店	津 曲 浩 史	2 2 7 - 1 1 1 8	(有)山三水産	宮 崎 愛 子	2 2 6 - 5 2 9 5
司水産(有)	山 下 明 秀	2 5 4 - 0 0 0 6	山実水産(有)	山口 憲一郎	2 5 4 - 2 9 8 5
(有)脇野水産	脇 野 由 紀	2 2 6 - 6 3 4 0	(有)山幸水産	立石 聖	2 4 4 - 6 0 7 2
福山水産(株)	濱 上 大 輔	2 3 9 - 8 5 0 4	(有)ヤマヨ水産	坂元 己智男	8 0 5 - 7 4 7 7
野口水産	野 口 芳 子	2 2 6 - 9 4 5 0			

ウ 売買参加者など市場関係業者組合

名 称	代 表 者	TEL
鹿児島魚類市場売買参加者協同組合	隈 元 仁	2 2 5 - 3 4 8 7
鹿児島県魚介類移動販売商業組合	下 野 満	2 2 3 - 1 3 6 6
鹿児島県蒲鉾協同組合	有 村 興 一	2 2 2 - 0 2 9 7

エ 関連事業者（１０業者）

（ア）第１種関連事業者（６業者）

業 種	名 称	代 表 者	TEL
精算代払機関	鹿児島水産物取引精算（株）	山口 憲一郎	２２３－７１１１
運搬業	鹿児島水産物荷役（株）	中村 二三夫	２２５－３３７７
製氷、冷蔵、冷凍業	鹿児島氷共同販売（株）	米 森 廣 文	２２３－７９５７
容器、包装資材取扱業	（株）ミサカ	美 坂 敦 士	２２６－２７７４
	安井（株）	堀 田 道 臣	２２５－４７６６
	（株）羽根	尾 無 茂	２２３－４１８５

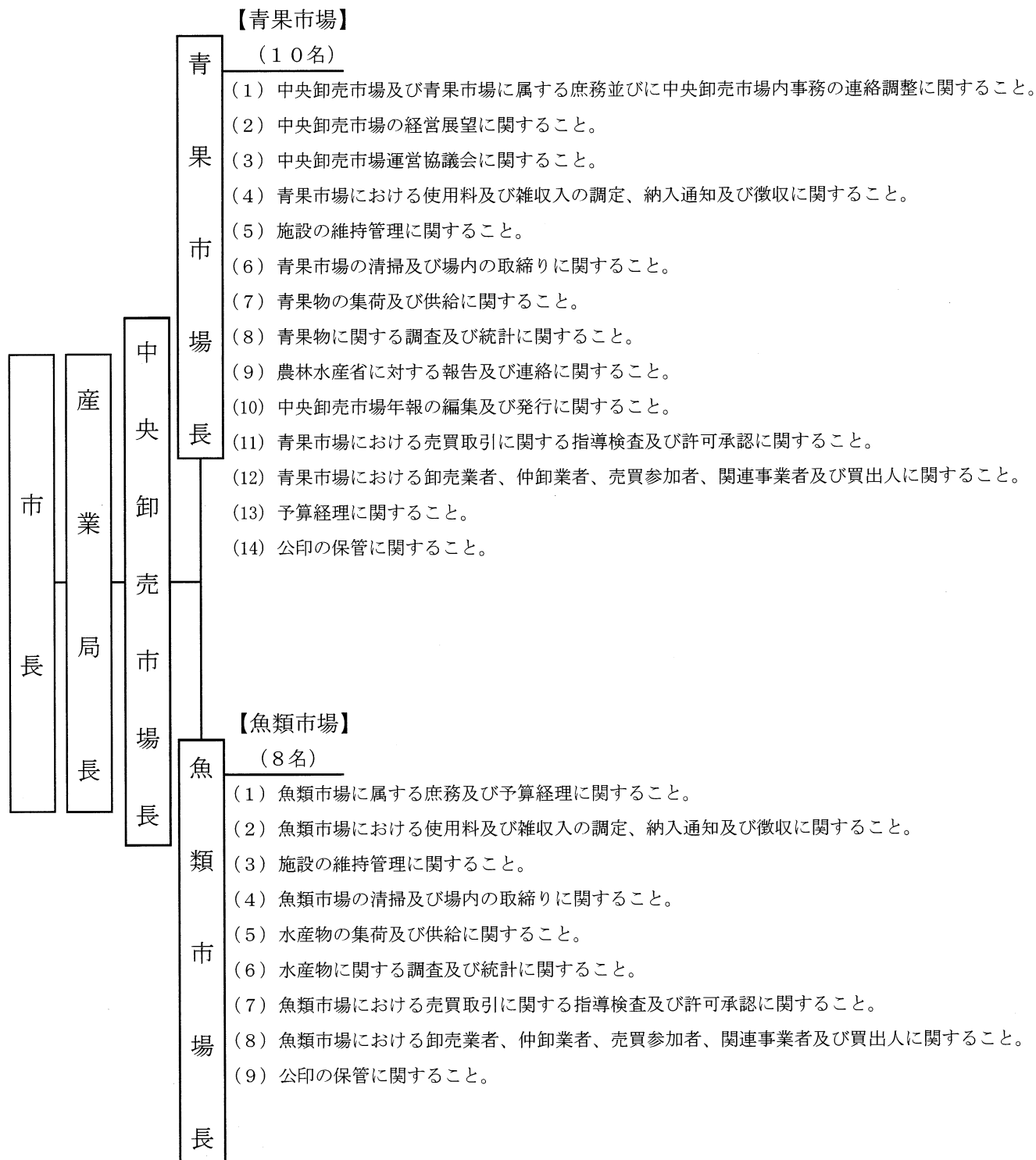
（イ）第２種関連事業者（４業者）

業 種	名 称	代 表 者	TEL
飲食店営業	（有）新港食堂	中 島 幸 子	２２４－４６５４
	（有）市場食堂	山 下 司	２２４－９８６４
日用雑貨取扱業	（株）マルワ	高木 美和子	２２４－５９７９
大根けん販売業	よしき屋	原田 千鶴子	２２６－９５７５

(3) 開設者（組織及び業務内容）

（令和7年1月1日現在）

※ 人事課付け職員を除く



7 取扱高の概況（令和6年次）

（1） 青果市場

ア 総取扱高

令和6年次の取扱高は、数量が153,807トン、金額が400億1千8百万円で、前年より、数量で13,376トン（8.0%）減少、金額では32億6千2百万円（8.9%）増加した。

イ 種類別取扱高

【野菜】

入荷状況は、暖冬で2月までは好調であったが、3、4月は気温低下や天候不順で、白菜や大根の入荷が落ち込んだ。6月から9月にかけて全国的に異常高温を記録したことから、軟弱野菜のキャベツ、果菜類のトマトやキュウリ、ピーマンなどに品質不良がみられ、また、入荷が不安定な状況が続いた。引き続き11月前半頃まで気温が高い状況が続き、秋冬産地の大根、白菜等に初動の遅れがみられた。

年間を通して異常な気象が続いたことで、特に軟弱野菜のキャベツや白菜、果菜類のきゅうり、トマト、ピーマンなど入荷が不安定な状況であった。

入荷量は133,068トン（92.9%）となり、前年と比較して10,132トン減少した。相場は、1月の寒波により露地野菜の生育や品質に春先まで影響があり、5月までは単価も不安定であった。6月以降は、全国的な異常な高温や雨の影響を受け入荷不安定となり高値で推移した。特に、夏以降、果菜類は単価高で推移した。11月に入ると秋冬野菜は全国的な豊作となり単価安となった。総額では302億9千1百万円（112.2%）となり、前年と比較して32億8千7百万円増加した。1kg当たりの平均単価は228円（120.6%）で前年と比較して39円高となった。

【果実】

入荷状況は、4月まで柑橘類やメロン類の入荷が少なかったが、りんごの入荷が安定しており昨年並みの入荷量となった。7月に入ると、夏果実の西瓜、8月以降はメロン、ぶどうの入荷量が安定していた。9月に入っても猛暑が続き、秋冬果実の生育や品質に影響があった。特に、柿は昨年に比べ数量減となった。

入荷量は19,095トン（87.9%）となり、前年と比較して2,628トン減少した。

相場は、冬場の寒波や夏場の全国的な異常な高温、干ばつ等により定着遅れや落果、生育不良による小玉傾向や着色不足などの影響を受け数量減となり、また、原油高や生産資材の高騰もあり、1年を通じ単価高で推移した。

総額では95億3千3百万円（100.5%）となり、前年と比較して4千7百万円増加した。1kg当たりの平均単価は499円（114.2%）で前年と比較して62円高となった。

ウ 品目別取扱高

野菜の品目別取扱量の順位は、1～10位が、キャベツ類・はくさい・たまねぎ・だいこん類・ばれいしょ類・レタス類・にんじん・きゅうり・トマト・ブロッコリーの順となった。

果実の順位は、バナナ・りんご・みかん・すいか・かき・なし・パイン・メロン・いちご・オレンジの順となった。

(2) 魚類市場

ア 総取扱高

令和6年次(1月～12月)における水産物の取扱高は、18,100トン(対前年比83.5%)で、前年と比較して3,577トン減少した。

金額は、15,603,303千円(対前年比92.1%)となり、前年を1,335,938千円下回った。

なお、種類別の取扱状況は、次のとおりである。

イ 種類別取扱高 ※以下()内は対前年比

【鮮魚】

入荷量は15,817トン(81.6%)で、前年と比較して3,576トン減少した。これは、太物が186トン(110.7%)、貝類が82トン(117.3%)増加したものの、瀬物が3,669トン(70.5%)、近海物が74トン(96.4%)など減少したためである。

金額は12,181,992千円(89.4%)で、前年と比較して1,449,225千円減少した。これは、青物が48,972千円(103.7%)、貝類が6,748千円(101.3%)など増加したものの、瀬物が1,422,793千円(70.5%)太物が47,992千円(97.5%)減少したためである。

【冷凍魚・塩干・加工・ねり・その他】

入荷量は2,284トン(99.9%)で、前年と比較して1トン減少した。これは、主に冷凍魚が13トン(107.1%)増加したが、塩干・加工・ねり・その他が26トン(95.3%)減少したためである。

金額は3,421,311千円(103.4%)で、前年と比較して113,286千円増加した。これは、冷凍魚が80,727千円(110.7%)増加したためである。

ウ 品目別取扱高

【鮮魚】

太物のお荷量は、びんが(193.3%)、ばしょうかじき(148.3%)、まぐろ(131.3%)などが増加し、黄はだ(78.5%)、きめじ(89.7%)、白皮かじき(72.1%)などが減少した。また、金額は、びんが(142.7%)、ばしょうかじき(128.9%)、まぐろ(116.7%)などが増加し、白皮かじき(69.9%)、黄はだ(81.5%)などが減少した。

青物のお荷量は、たれくち(1697.4%)、養殖あじ(1010.8%)、さんま(739.8%)などが増加し、赤いか(70.0%)、甲いか(72.4%)、やりいか(72.0%)などが減少した。また、金額は、たれくち(1098.2%)、釣りさば(828.9%)、養殖あじ(778.0%)などが増加し、青あじ(55.6%)、やりいか(72.1%)、飛魚(72.6%)などが減少した。

瀬物のお荷量は、養殖ひらす(559.1%)、天然ひらす(350.6%)、うまづら(237.3%)などが増加し、はがつお(16.1%)、かつお(56.9%)、はまち(60.4%)などが減少した。また、金額は、養殖ひらす(968.0%)、天然ひらす(238.5%)、うまづら(218.1%)などが増加し、はがつお(26.7%)、ばけきんめ(58.8%)、かつお(56.1%)などが減少した。

近海物のお荷量は、養殖石鯛(408.9%)、さより(411.6%)、えい(229.4%)などが増加し、おこぜ(29.2%)、旭がに(40.5%)、赤えび(49.1%)などが減少した。また、金額は、養殖石鯛(403.7%)、さより(309.2%)、皮はぎ(263.1%)などが増加し、旭がに(31.9%)、おこぜ(32.0%)、赤えび(45.0%)などが減少した。

貝類のお荷量は、串貝(412.4%)、月日貝(297.1%)、がらびな(108.8%)などが増加し、白貝(21.1%)、ながらめ(45.4%)などが減少した。また、金額は、串貝(296.4%)、月日貝(184.1%)、ばい(109.6%)が増加し、白貝(15.7%)、ながらめ(49.0%)、帆立貝(68.0%)などが減少した。

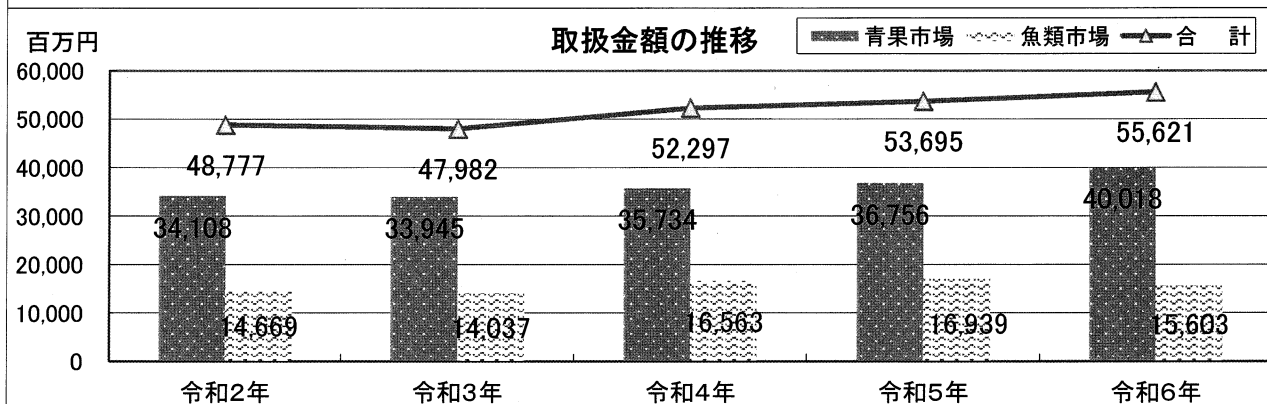
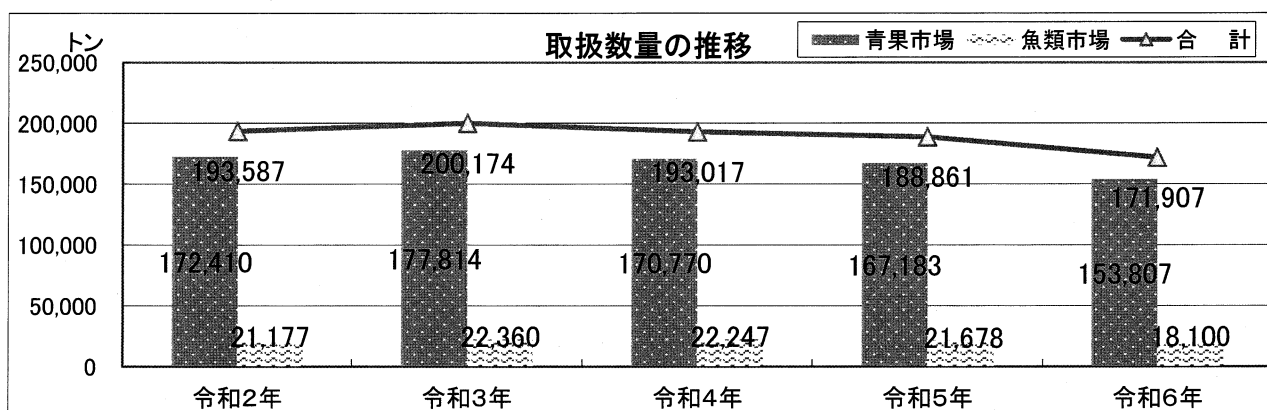
【冷凍魚・塩干・加工・ねり・その他】

お荷量は、冷凍しいら(15210.0%)、冷凍かます(6871.4%)、冷凍黒皮かじき(411.2%)などが増加し、冷凍きんぐ(皆減)、冷凍毛がに(皆減)、冷凍まつぶ貝(皆減)などが減少した。また、金額は、冷凍しいら(5590.0%)、冷凍かます(5246.0%)、冷凍黒皮かじき(1248.4%)などが増加し、冷凍きんぐ(皆減)、冷凍毛がに(皆減)、冷凍まつぶ貝(皆減)などが減少した。

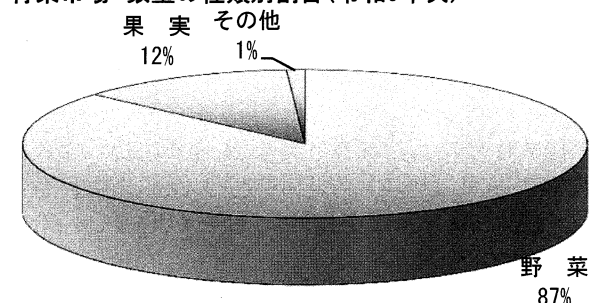
8 本市場の取扱高推移（令和2年次～令和6年次）

単位 { 数量：t
金額：百万円

年次 種類		令和2年	前年比 (%)	令和3年	前年比 (%)	令和4年	前年比 (%)	令和5年	前年比 (%)	令和6年	前年比 (%)
合 計	数量	193,587	97.2	200,174	103.4	193,017	96.4	188,861	97.8	171,907	91.0
	金額	48,777	104.3	47,982	98.4	52,297	109.0	53,695	102.7	55,621	103.6
青果計	数量	172,410	96.9	177,814	103.1	170,770	96.0	167,183	97.9	153,807	92.0
	金額	34,108	107.8	33,945	99.5	35,734	105.3	36,756	102.9	40,018	108.9
野 菜	数量	147,946	97.4	152,091	102.8	145,594	95.7	143,200	98.4	133,068	92.9
	金額	25,414	109.2	25,116	98.8	26,379	105.0	27,004	102.4	30,291	112.2
果 実	数量	21,859	93.1	22,826	104.4	22,154	97.1	21,723	98.1	19,095	87.9
	金額	8,403	103.5	8,536	101.6	9,040	105.9	9,486	104.9	9,533	100.5
その他	数量	2,606	103.8	2,897	111.2	3,022	104.3	2,260	74.8	1,643	72.7
	金額	292	111.7	293	100.4	315	107.5	265	84.3	194	72.9
魚類計	数量	21,177	99.5	22,360	105.6	22,247	99.5	21,678	97.4	18,100	83.5
	金額	14,669	97.0	14,037	95.7	16,563	118.0	16,939	102.3	15,603	92.1
鮮 魚	数量	18,250	100.6	19,504	106.9	19,569	100.3	19,393	99.1	15,817	81.6
	金額	11,469	96.6	10,805	94.2	13,238	122.5	13,631	103.0	12,182	89.4
冷凍魚	数量	1,077	93.6	962	89.3	756	78.6	631	83.5	644	102.1
	金額	908	87.8	808	89.0	753	93.2	757	100.5	838	110.7
その他	数量	1,850	93.4	1,894	102.4	1,922	101.5	1,654	86.1	1,639	99.1
	金額	2,291	103.5	2,424	105.8	2,572	106.1	2,551	99.2	2,583	101.3



青果市場 数量の種類別割合(令和6年次)



魚類市場 数量の種類別割合(令和6年次)

